

クロンベルク・アカデミー

大阪公演 2026

世界最高峰の師弟アンサンブルによる珠玉の室内楽
— 名門クロンベルク・アカデミーの名匠と、未来のソリストたちによる至高の共演 —

KRONBERG



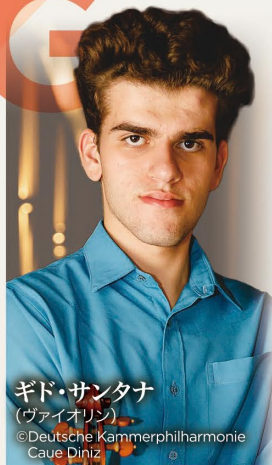
今井信子
(ヴィオラ)
©Marco Borggreve



イ・ヘス
(ヴィオラ)
©Daniel Delang



ミハエラ・マルティン
(ヴァイオリン)
©Marco Borggreve



ギド・サンタナ
(ヴァイオリン)
©Deutsche Kammerphilharmonie
Caue Diniz



MINAMI
(ヴァイオリン)
©Yoshihiro Yoshida

ACADEMY



フランス・ヘルメルソン
(チェロ)
©Marco Borggreve



アルネ・ツェラー
(チェロ)
©ohne



アンナ・ハン
(ピアノ)
©Rachel Breen

Concert Osaka 2026

PROGRAM

ショスタコーヴィチ: ピアノ三重奏曲第1番 ハ短調 作品8

ギド・サンタナ (Vn.) / アルネ・ツェラー (Vc.) / アンナ・ハン (Pf.)

シューベルト: 弦楽四重奏曲第13番 イ短調 D.804 「ロザムンデ」

ミハエラ・マルティン、MINAMI (Vn.) / イ・ヘス (Va.) / フランス・ヘルメルソン (Vc.)

ドヴォルザーク: ピアノ五重奏曲第2番 イ長調 作品81

MINAMI、ギド・サンタナ (Vn.) / 今井信子 (Va.) / アルネ・ツェラー (Vc.) / アンナ・ハン (Pf.)

Shostakovich Piano Trio No.1 in C minor, Op.8

Guido Sant'Anna (Vn.), Arne Zeller (Vc.), Anna Han (Pf.)

Schubert: String Quartet No.13 in A minor, D.804 "Rosamunde"

Mihaela Martin, MINAMI (Vn.), Haesue Lee (Va.), Frans Helmerson (Vc.)

Dvorak: Piano Quintet No.2 in A major, Op.81

MINAMI, Guido Sant'Anna (Vn.), Nobuko Imai (Va.), Arne Zeller (Vc.), Anna Han (Pf.)

2026 **6.16** ^火 19:00開演 (18:30開場) **ワキタ コルディアホール**
Tuesday 16 June, 2026, at 7p.m. at Wakita Cordia Hall

全席指定 一般 ¥5,000 学生 ¥2,000 (税込) ※25歳以下。当日、学生証をご提示の上でご入場下さい。

2月21日(日) チケット発売開始

〈チケットお申込み〉 イープラス <https://eplus.jp/> 〈PC&携帯〉 チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 320-105) 〈PC&携帯〉
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 32852) 〈PC&携帯〉

主催: 一般財団法人 小野文化財団



ONO CULTURE
FOUNDATION

特別協賛: 株式会社ワキタ 後援: 公益財団法人日本室内楽振興財団、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

マネジメント・お問合せ: AMATI TEL:03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 <http://www.amati-tokyo.com>



クロンベルク・アカデミーは1993年にドイツ・クロンベルクにて自身もチェリストであるライムント・トレンクラーとパブロ・カザルス夫人のマルタ・イストミン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチらにより創設された。既に国際的に活躍する若手演奏家を対象に、クリスティアン・テツラフ、ギドン・クレーメル、アンドラーシュ・シフ、クリストフ・エッシェンバッハなど第一線で活躍する音楽家が教育活動を展開する世界でも類を見ない教育機関である。これまでにヴィルデ・フランク、アリーナ・イブラギモヴァ、キム・スーヤン（ベルリン・コンツェルトハウス管コンサートマスター）、ティモシー・リダウト、ディヤン・メイ（ベルリン・フィル首席奏者）、パブロ・フェランデス、フリードリヒ・ティーレ（シュターツカペレ・ドレスデン首席奏者）、日本人では大江 馨、岡本誠司、毛利文香、宮田 大などソリストや主要オーケストラで活躍する音楽家を多数輩出している。2022年にはその実績により高松宮殿下記念世界文化賞「若手芸術家奨励制度」に選出された。好評を博した2023年のツアーに続き、3年ぶり待望の日本公演となる。クロンベルク・アカデミー日本友の会 ホームページ <https://onocf.org/kafriendsjapan/>

PROFILE



©Marco Borggreve

ミハエラ・マルティン (ヴァイオリン) Mihaela Martin, Violin
ルーマニア生まれ。S.ゲオルギウへの師事を通じて、オイストラフ、エネスクの系譜を引き継ぐヴァイオリニストである。19歳でチャイコフスキー国際コンクール第2位入賞、のちにインディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールで優勝。マズア、アーノンクール、デュトワ、N.ヤルヴィらの指揮でBBC響、ロイヤル・フィル、モントリオール響、ゲヴァントハウス管等と共演。ミケランジェロ弦楽四重奏団のメンバー。ローラントシェック室内楽音楽祭芸術監督。



©Deutsche Kammerphilharmonie Cauté Diniz

ギド・サンタナ (ヴァイオリン) Guido Sant'Anna, Violin
2005年ブラジル生まれ。22年ブリッツ・クライスラー国際コンクールで南米人初の優勝を果たし、国際的注目を集めた。ラインガウ音楽祭でフランクフルト放送響と共演。今シーズンはヘルシンキ・フィル、アイスランド響などと共演し、26年夏にブレゲンツ音楽祭でウィーン響と共演予定。リサイタルではキッシンゲンの夏、シュレースヴィヒホルシュタインなど特にドイツを代表する主要音楽祭に出演し、今後ウィグモアホールでアンドラーシュ・シフとの共演も控える。『フォーブス ブラジル』の「30アンダー30」に選出。クロンベルク・アカデミーでミハエラ・マルティンに師事。



©Yoshihiro Yoshida

MINAMI [吉田 南] (ヴァイオリン) MINAMI, Violin
2025年第13回シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第2位、24年エリザベート王妃国際音楽コンクール第6位ほか、インディアナポリス、ヨーゼフ・ヨアヒム、モントリオールなどの国際コンクールで上位入賞。ヘルシンキ・フィル、フィンランド放送響、モントリオール響をはじめ国内外のオーケストラと共演。25年秋より、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者としてトライアルを開始。原田幸一郎、竹澤恭子、ミリアム・フリード、ミハエラ・マルティンに師事。使用楽器はThe Ryuji Ueno Foundation/Rare Violins In Consortiumの共同プロジェクトにより貸与された「Zosimo Bergonzi, c.1775-78」。



©Marco Borggreve

今井信子 (ヴィオラ) Nobuko Imai, Viola
現代屈指のヴィオラ奏者として高い信頼と圧倒的な人気を誇る。ソリスト、室内楽奏者、教育者として国際的に活躍。ヴィオラ界をリードする存在として武満徹くア・ストリング・アラウンド・オータム等数々の世界初演や、〈ヴィオラスペース〉、「インターナショナル・ヒンデミット・ヴィオラ・フェスティバル」の企画・演奏、東京国際ヴィオラコンクールの設立に携わる。ソフィア王妃高等音楽院、クロンベルク・アカデミー、アムステルダム音楽院等の教授を歴任、今井の薫陶を受けたヴィオリスト達が現在世界各地で活躍している。



©Daniel Delang

イ・ヘス (ヴィオラ) Haesue Lee, Viola
1999年韓国生まれ。2023年ミュンヘン国際音楽コンクール、18年プリムローズ国際ヴィオラコンクール第1位受賞。カーネギーホールに12歳でデビューし、フィラデルフィア管弦楽団などと共演。室内楽にも情熱を注ぎ、マールボロ、ラヴィニアなど著名な音楽祭に参加。今井信子など国際的に活躍する音楽家と数多く共演。カーティス音楽院で学び、ハンス・アイスラー音楽大学で修士号取得。小野文化財団の支援を得て、現在クロンベルク・アカデミーでタペア・ツィンマーマンに師事。使用楽器はサムスン財団より貸与された1590年製ガスパロ・ダ・サロ。



©Marco Borggreve

フランス・ヘルメルソン (チェロ) Frans Helmerson, Cello
スウェーデン出身。チェリビダッケより多大な音楽的影響を受け、ロストロポーヴィチらに師事。1971年、カサド国際チェロコンクール優勝。ソリスト、指揮者として世界各地でのコンサートや録音が非常に高く評価されている。また室内楽にも情熱を注ぎ、ヴェルビエ音楽祭、カザルス音楽祭(ブラド)などヨーロッパの主要音楽祭の常連である。2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団を結成。06年よりクロンベルク・アカデミー・スタディ・プログラムで教授を務め、バレンボイム=サイド・アカデミーでも教鞭を執る。



©ohne

アルネ・ツェラー (チェロ) Arne Zeller, Cello
2006年生まれ。25年ブダペスト国際チェロコンクールでグランプリと聴衆賞、24年パブロ・カザルス国際賞で第1位を受賞。ライプツィヒ音楽演劇大学を経て、クロンベルク・アカデミーで学び、フランス・ヘルメルソンに師事。ウィーン楽友協会やケネディ・センターをはじめとする世界的な会場で演奏を行い、バーデンバーデン・フィル、クレメラータ・バルティカ、フランクフルト放送響などと共演。モーリッツブルク、ラインガウなどの音楽祭にも参加。室内楽ではパンタレオン・トリオ(ピアノ三重奏)のメンバーとして欧米各国の国際ツアーを成功させた。



©Rachel Breen

アンナ・ハン (ピアノ) Anna Han, Piano
アリゾナ州生まれ。ナウムブルク国際ピアノコンクールをはじめ数多くのコンクールで受賞歴を持つ。ジュリアード音楽院で学士・修士号を取得後、バレンボイム=サイド音楽院でアーティスト・ディプロマを取得。米国および英国のオーケストラとソリストとして共演後、活躍の場をヨーロッパに広げている。ルツェルンやグシュタード音楽祭に出演。室内楽にも積極的で、スティープン・イッサーリス、キム・カシュカジャン、イツァーク・パールマンらと共演。ギュンター・ヘンレ財団の支援を受け、現在クロンベルク・アカデミーでアンドラーシュ・シフのプログラムに参加。

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ③演奏中は入場できません。
- ④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。
- ⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。
- ⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

株式会社ワキタは
豊かな明日を拓きます



東京証券取引所プライム市場上場
事業内容: 建機事業、商事事業、不動産事業
資本金: 138億2,187万円
<https://www.wakita.co.jp>

ワキタ コルディアホール



〒550-0002
大阪府大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル3F

- Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」駅5-B出口すぐ
- Osaka Metro 御堂筋線・京阪電車「淀屋橋」駅4番出口、土佐堀通を西へ徒歩7分

